

新入生オリエンテーション 校長講話

- 自分は何者なのか。自分はどこから来たのか。自分は何をなすべきなのか。

- よく考えよう
 - 何のために高校に入ったのか
 - なぜ学ぶのか
 - 学ぶとは
 - 学ぶことの始まりは
 - 教えてもらうより、自分で学ぶ
 - たくさんの知識より、使い方

- 高校時代とはどんなときか？

- 現代は、どんな時代か？

- 市邨高校は、どんな高校か？

- 市邨学園の歴史
 - 明治40年(1907年) 名古屋女子商業学校開学
 - 大正12年(1923年) 名古屋第二女子商業学校開学
 - 昭和22年(1947年) 名古屋女子商業高等学校 新校舎移転
 - 昭和40年(1965年) 市邨学園短期大学開学
 - 昭和54年(1979年) 市邨学園大学開学
 - 平成14年(2002年) 高校・中学、大学の校名変更、男女共学化、商業科を普通科に改編

- 建学の精神
 - 市邨精神とは

「一に人物、二に伎倆」
 「桜は桜 松は松たれ」

「起てよ、憤りを発せよ。有用の人たれ。活舞台に於いて活躍する活人物たれ。世界は我が市場ならずや。」

- 校訓三則 「慈 忠 忍」

ここで問題！

つるとかめが合わせて9ひきいます。足の数は合わせて26本です。つるとかめはそれぞれ何びきいますか。

【答え】

『藪椿』

「過去は追うべからず、将来は未だ来たらず、故に人が自由に使用できるのは、只現在あるのみであります。即ちいつでも「今日」丈が、自由に使用の出来る日であります。」

「人格と人格と相触れて、火花が散るところに人物教育が出来る。事物について一々金槌にて鍛え、砥にて磨き、常識を養のうてこそ、伎倆の伴うた真の人物が出来るのである。」

「現代の日本に於いて、最も必要なるは「人」なり。予が茲に「人」と云うは、所謂「人材」と云い、又単に「仕事の出来る人」と云うの意味にあらず。予の所謂「人」とは何ぞや。曰く言い難きも、誠に其の片鱗を示せば、円満に発達せる常識を有し、社会人生に対して正当なる理解あり同情あり、頭の人たり手の人たると同時に、情の人たり徳の人たるを云ふ。」(達人篇第二)

クラス() 番号() 氏名()

ふり返り